

講義科目名称： インターンシップⅣ

授業コード： 90155

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。  「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。  インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は出勤日の日誌を毎回提出する。  インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。  同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①【自己変革】他人の言動を観察し、良い点は取り入れ、自分をより成長させることができる。</li> <li>②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。</li> <li>③【規律性・忍耐力】新しい職務に取り組む中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。</li> <li>④【ストレスコントロール力】新しい職務に取り組む中でも、ストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。</li> <li>⑤【良い行いの習慣化】良いと思われる言動を自ら進んで取り入れ、習慣化させることができる。</li> </ol> <p>インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。</p> <p>インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）</p>
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。